

# 品川区議会だより



第298号

令和5年(2023年)4月26日発行

発行／品川区議会 〒140-8715 東京都品川区広町二丁目1番36号

電話 03-5742-6810(直通) Fax 03-5742-6895

品川区議会ホームページ <https://gikai.city.shinagawa.tokyo.jp/>



しながわ花海道 (東大井一・二丁目、勝島一丁目)

## 令和5年第1回定例会

- 品川区のこのようなことが決まりました ..... 2～3
- 議案の議決結果 ..... 4～5
- 請願・陳情の審査結果 ..... 6～7
- お金の使いみちが決まりました ..... 8～9
- 予算に対する各会派の意見表明 ..... 10～11
- 予算特別委員会総括質疑 ..... 12
- 区政をきく(代表質問・一般質問) ..... 13～21
- 常任委員会の活動・特別委員会の活動 ..... 22
- 議会改革の取組状況をお知らせします ..... 23
- 浅間台小学校 本会議場見学 ..... 24

### 表紙の写真について

(小田真矢様 撮影)

表紙に掲載の写真は、ご応募いただいた中から選ばれました。

品川区議会では、引き続き品川区議会だよりの表紙等に掲載する写真を募集しています。

詳しくは、品川区議会ホームページをご覧ください。事務局調査係までお問合せください。

写真の掲載については確認済ですが、無断転載・転用は固くお断りします。  
ユニバーサルデザインに配慮した書体・配色を使用しています。



## 東京都パートナーシップ宣誓制度の活用を進めます

- 第18号議案 品川区立高齢者住宅条例の一部を改正する条例
- 第19号議案 品川区立大井林町高齢者住宅条例の一部を改正する条例
- 第21号議案 品川区営住宅条例の一部を改正する条例
- 第22号議案 品川区立区民住宅条例の一部を改正する条例
- 第24号議案 品川区立従前居住者用住宅条例の一部を改正する条例

多様な性に関する都民の理解を推進するとともに、パートナーシップ関係に係る生活上の不便の軽減など当事者が暮らしやすい環境づくりにつなげることを目的に、「東京都パートナーシップ宣誓制度」が開始されました。品川区においても、この「東京都パートナーシップ宣誓制度」を活用し、令和5年4月1日からパートナーシップ関係の相手方と同居している方や同居しようとする方を、下記対象住宅の使用者の資格要件等に追加します。

**対象住宅** 区立高齢者住宅（借上型・建設型）、区立大井林町高齢者住宅、区営住宅、区民住宅、区立従前居住者用住宅

### 委員会での質問

※第21・22・24号議案についての質問です

#### 改正内容の周知について

**A** 区民住宅および区営住宅の居住者に対しては、定期的に発行している居住者へのお知らせで周知を図り、それ以外の方には、入居者募集の際の募集要項や区のホームページを活用し周知を行う

## しながわ区民公園に「こどもサッカー場」を整備します

第25号議案 品川区立公園条例の一部を改正する条例

しながわ区民公園に「こどもサッカー場」を新たに整備し、使用料を定めます。

### (1) 施設の概要

こどもサッカー場 1面（60m×40m、ナイター設備なし、人工芝）  
※大人のミニサッカー、フットサル（2面分）としても利用可能

### (2) 使用料金（2時間／枠）

|       | 小学生以下  | 中学生以上  | 備考             |
|-------|--------|--------|----------------|
| 区内チーム | 500円   | 1,500円 | 軟式こども野球場と同様の設定 |
| 区外チーム | 1,000円 | 3,000円 |                |



**(3) スケジュール（予定）** 令和5年8月1日 こどもサッカー場 運用開始予定  
（しながわ区民公園北側ゾーン改修工事は令和5年12月完了予定）

## 社会福祉基金の増額および高齢者福祉基金の設置を行います

第17号議案 品川区社会福祉基金条例の一部を改正する条例

「福祉の進展のために役立てていただきたい」と寄贈を受けた寄附金について、下記のとおり基金形成を図ります。

### (1) 増額する基金

〔基金の名称〕 社会福祉基金  
〔改正前の額〕 3,000万円  
〔改正後の額〕 1億808万5,788円  
（7,808万5,788円増額）  
〔目的〕 福祉の進展のため

### (2) 設置する基金

〔基金の名称〕 高齢者福祉基金  
〔基金の額〕 300万円  
〔目的〕 高齢者福祉の進展のため

### 議案等審議

－ 令和5年第1回定例会 －

# 品川区のこのようなことが決まりました

会期36日間：令和5年2月21日～3月28日

今回審議した議案等は

区長提出議案 …… 30件 請願・陳情 …… 29件  
計59件

※上記のうち、主な議案を以下のとおりご紹介します。

## 第2子の保育料を区独自で無償化します

- 第13号議案 品川区保育の実施等に関する条例の一部を改正する条例
- 第14号議案 品川区私立認定こども園、私立幼稚園および特定地域型保育事業の利用者負担額に関する条例の一部を改正する条例

認可保育園、認定こども園、地域型保育事業に在園している0～2歳児クラスの第2子の月額保育料を都に先駆けて4月から無償とします。

|                    | 第2子     |           | 第3子以降   |           |
|--------------------|---------|-----------|---------|-----------|
|                    | 第1子が就学前 | 第1子が小学生以上 | 第1子が就学前 | 第1子が小学生以上 |
| 国の制度               | 保育料 半額  | (制度対象外)   | 保育料 無償  | 保育料 半額    |
| 都の制度<br>(現状の区の制度)  | 保育料 半額  |           | 保育料 無償  |           |
| 区の制度<br>(令和5年4月以降) | 保育料 無償  |           |         |           |

### 委員会での質問

#### 区の財政負担について

**A** 第2子の保育料は現行半額の保護者負担となっているが(※)、無償化により保護者負担の年額4億6,800万円の歳入が無くなり、当該額を歳出の運営費に充当できないため、一般財源で手当することとなる。なお、10月以降分に係る歳入減については、東京都からの補助が見込まれるところである

※令和5年2月27日時点

意見の分かれた議案

| 議案番号 | 件名                                   | 結果 | 自民      | 公明  | 共産      | イノベ     | ネット | 品改  | 維新  | 無所属議員(50音順) |     |     |
|------|--------------------------------------|----|---------|-----|---------|---------|-----|-----|-----|-------------|-----|-----|
|      |                                      |    | (13)    | (7) | (6)     | (4)     | (3) | (2) | (2) | (1)         | (1) | (1) |
| 1    | 令和4年度品川区一般会計補正予算                     | 可決 | ※1<br>○ | ○   | ×       | ※2<br>○ | ○   | ○   | ○   | ○           | ○   | ○   |
| 2    | 令和4年度品川区国民健康保険事業会計補正予算               | 可決 | ※1<br>○ | ○   | ×       | ※2<br>○ | ○   | ○   | ○   | ○           | ○   | ○   |
| 3    | 令和4年度品川区後期高齢者医療特別会計補正予算              | 可決 | ※1<br>○ | ○   | ×       | ※2<br>○ | ○   | ○   | ○   | ○           | ○   | ○   |
| 4    | 令和4年度品川区介護保険特別会計補正予算                 | 可決 | ※1<br>○ | ○   | ×       | ※2<br>○ | ○   | ○   | ○   | ○           | ○   | ○   |
| 5    | 令和5年度品川区一般会計予算                       | 可決 | ※1<br>○ | ○   | ※3<br>× | ※3<br>○ | ○   | ○   | ○   | ○           | ○   | ○   |
| 6    | 令和5年度品川区国民健康保険事業会計予算                 | 可決 | ※1<br>○ | ○   | ※3<br>× | ※3<br>○ | ×   | ○   | ○   | ○           | ○   | ○   |
| 7    | 令和5年度品川区後期高齢者医療特別会計予算                | 可決 | ※1<br>○ | ○   | ※3<br>× | ※3<br>○ | ○   | ○   | ○   | ○           | ○   | ○   |
| 8    | 令和5年度品川区介護保険特別会計予算                   | 可決 | ※1<br>○ | ○   | ※3<br>× | ※3<br>○ | ○   | ○   | ○   | ○           | ○   | ○   |
| 10   | 品川区職員定数条例の一部を改正する条例                  | 可決 | ※1<br>○ | ○   | ※3<br>× | ※3<br>○ | ×   | ○   | ○   | ○           | ○   | ○   |
| 11   | 品川区印鑑条例の一部を改正する条例                    | 可決 | ※1<br>○ | ○   | ※3<br>× | ※3<br>○ | ×   | ○   | ○   | ○           | ○   | ○   |
| 25   | 品川区立公園条例の一部を改正する条例<br>(3ページ中段に説明を掲載) | 可決 | ※1<br>○ | ○   | ※3<br>× | ※3<br>○ | ○   | ○   | ○   | ○           | ○   | ○   |
| 28   | 品川区国民健康保険条例の一部を改正する条例                | 可決 | ※1<br>○ | ○   | ※3<br>× | ※3<br>○ | ×   | ○   | ○   | ○           | ○   | ○   |
| 29   | 教育委員会教育長の任命同意について<br>(伊崎 みゆき 氏)      | 可決 | ※1<br>○ | ○   | ※3<br>× | ※3<br>○ | ○   | ○   | ○   | ○           | ○   | ○   |

○…賛成 ×…反対 (数字)は所属議員数 無所属議員は左から氏名の50音順で表記しています。

※1…自民のうち1名は議長の職務を行ったため、議決には加わりませんでした。

※2…イノベのうち2名は欠席のため、議決には加わりませんでした。

※3…共産、イノベのうち各1名は欠席のため、議決には加わりませんでした。

●会派名は次の略語で記載しています。

自民…品川区議会自民党 公明…品川区議会公明党 共産…日本共産党品川区議団 イノベ…イノベーション品川 ネット…品川・生活者ネットワーク 品改…品川改革連合 維新…品川区議会日本維新の会

議案の議決結果

各議員の賛否はこちらの二次元バーコードからご覧になれます→



全会一致で可決した議案

| 議案番号 | 件名                                                               |
|------|------------------------------------------------------------------|
| 9    | 令和5年度品川区災害復旧特別会計予算                                               |
| 12   | 品川区放課後児童健全育成事業の設備および運営の基準に関する条例の一部を改正する条例                        |
| 13   | 品川区保育の実施等に関する条例の一部を改正する条例(2ページに説明を掲載)                            |
| 14   | 品川区私立認定こども園、私立幼稚園および特定地域型保育事業の利用者負担額に関する条例の一部を改正する条例(2ページに説明を掲載) |
| 15   | 品川区家庭的保育事業等の設備および運営の基準に関する条例の一部を改正する条例                           |
| 16   | 品川区特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例                   |
| 17   | 品川区社会福祉基金条例の一部を改正する条例(3ページ下段に説明を掲載)                              |
| 18   | 品川区立高齢者住宅条例の一部を改正する条例(3ページ上段に説明を掲載)                              |
| 19   | 品川区立大井町高齢者住宅条例の一部を改正する条例(3ページ上段に説明を掲載)                           |
| 20   | 品川区立健康センター条例の一部を改正する条例                                           |
| 21   | 品川区営住宅条例の一部を改正する条例(3ページ上段に説明を掲載)                                 |
| 22   | 品川区立区民住宅条例の一部を改正する条例(3ページ上段に説明を掲載)                               |
| 23   | 品川区手数料条例の一部を改正する条例                                               |
| 24   | 品川区立従前居住者用住宅条例の一部を改正する条例(3ページ上段に説明を掲載)                           |
| 26   | 品川区立学校の学校医、学校歯科医および学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例                  |
| 27   | ファミリーユ西五反田西館高層棟ほか外壁改修その他工事請負契約                                   |
| 30   | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(原 敦子 氏)                                 |

区議会ホームページでは、本会議・委員会の資料や会議録などを公開しています

1 区議会の活動

区議会の活動から、本会議や委員会の予定・結果、資料等をご覧いただけます。

2 区議会の会議録

会議録検索から、本会議・委員会の会議録をご覧いただけます。

3 区議会の映像

インターネット中継から、本会議の代表・一般質問等や予算・決算特別委員会総括質疑の映像をご覧いただけます。



区議会ホームページトップ画面(パソコン)

| 付託委員会        | 請願・陳情件名           | 受理番号      | 結果   |
|--------------|-------------------|-----------|------|
| 災害・環境対策特別委員会 | 気候非常事態品川宣言の陳情     | 令和5年陳情第3号 | 継続審査 |
|              | 品川区に気候区民会議を設置する陳情 | 令和5年陳情第4号 | 継続審査 |
|              | 都条例 太陽光発電義務化支援の陳情 | 令和5年陳情第5号 | 継続審査 |

**採 択**：区議会として、ご希望に賛同します。  
**趣旨採択**：区議会として、ご希望の趣旨に賛同します。  
**不 採 択**：区議会として、ご希望に賛同しかねます。  
**継続審査**：継続審査となった請願・陳情は、議員の任期満了(4月30日)とともに、審議未了となります。  
**取り下げ**：陳情提出者の意思により、取り下げられました。

請願・陳情についての議事内容等が掲載された各付託委員会の会議録は、こちらの二次元バーコードからご覧になれます



### 請願・陳情とは

区議会では、区政についての皆様のご要望やご意見を、請願や陳情としてお受けしています。本会議で採択した請願や陳情は、区長や教育委員会などの執行機関に送り、その実現に努力するよう求めます。

### 議員研修会を開催しました

令和5年2月9日、山梨県早川町長の辻一幸氏を品川区議会にお招きし、「自治体間連携・交流について～地域のつながり～」をテーマにご講演いただきました。



研修会の様子



辻一幸町長

### 山梨県早川町との交流について

早川町は、山梨県の南西部に位置し、南アルプスの山々に囲まれた自然豊かな町です。品川区と早川町は、平成2年4月19日に「ふるさと交流協定」を結び、さまざまな交流事業を実施しています。平成19年には、早川町京ヶ島地区にある広さ4万㎡、標高482mの通称「丸山」を、品川区民のふるさとの山「マウントしながわ」として区が早川町から無償で提供を受け、里山再生事業を行っています。



マウントしながわ遠景



町営宿泊施設ヘルシー美里

## 請願・陳情の審査結果

| 付託委員会                                                                                                  | 請願・陳情件名                                                       | 受理番号       | 結果   |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|------------|------|
| 総務委員会                                                                                                  | 来年度国家予算に関する請願                                                 | 令和5年請願第2号  | 不採択  |
|                                                                                                        | 「消費税インボイス(適格請求書)実施中止を求める意見書」を国へ提出を求める請願                       | 令和5年請願第3号  | 不採択  |
|                                                                                                        | 品川区庁舎建て替えにあたり品川アリーナ新設を求める陳情                                   | 令和3年陳情第7号  | 取り下げ |
|                                                                                                        | 区民とともに考え議論し、区長とともに創る計画策定を求める陳情                                | 令和5年陳情第1号  | 不採択  |
| 区民委員会                                                                                                  | 選択的夫婦別姓制度の国会審議を求める意見書を国に提出することを要望する請願                         | 令和元年請願第21号 | 継続審査 |
| 厚生委員会                                                                                                  | 重度障害者を差別しないグループホーム入居選考を求める陳情                                  | 令和5年陳情第2号  | 不採択  |
| 建設委員会                                                                                                  | 羽田増便による新都心飛行ルートの中止・撤回に関する請願                                   | 令和2年請願第3号  | 継続審査 |
|                                                                                                        | 品川区議会が国に対し羽田新飛行ルートは早急に運用停止するよう意見書を提出することを求める請願                | 令和4年請願第14号 | 継続審査 |
|                                                                                                        | 航空需要が回復したとしても、羽田新飛行ルートは必要無くなりました、よって国に対し運用停止を求める請願            | 令和4年請願第17号 | 継続審査 |
|                                                                                                        | 住民の生活と命を守るため、国に対し羽田新飛行ルートを早急に一旦海上ルートへ戻し、再考を求める意見書提出の請願        | 令和5年請願第4号  | 継続審査 |
|                                                                                                        | 区議会決議を尊重して国交省に撤回を求めるよう区長に求める陳情                                | 令和元年陳情第37号 | 継続審査 |
|                                                                                                        | 羽田新飛行ルートの本格実施飛行の中止を、品川区から国交省に求めてくださいの陳情                       | 令和2年陳情第21号 | 継続審査 |
|                                                                                                        | 令和2年3月29日以降の「羽田新ルート」運用について「都心上空飛行ルート」の「海ルート」への変更を求めることについての陳情 | 令和2年陳情第22号 | 継続審査 |
|                                                                                                        | 羽田空港国際線増便の目的消失による、新飛行経路の都心低空飛行停止を国に望む陳情                       | 令和2年陳情第28号 | 継続審査 |
|                                                                                                        | 羽田空港新ルート運用の一時凍結を求める陳情                                         | 令和4年陳情第4号  | 継続審査 |
|                                                                                                        | 羽田空港新ルート運用の一時凍結を求める陳情                                         | 令和4年陳情第8号  | 継続審査 |
|                                                                                                        | コロナ禍のもとで羽田空港への外国人客が激減している中、都心ルートを一時凍結し、従来ルートにもどすことに関する陳情      | 令和4年陳情第9号  | 継続審査 |
|                                                                                                        | 羽田空港への着陸航路について「新ルート」運用の一時停止を議会の総意として国土交通省に提言することを求める陳情        | 令和4年陳情第10号 | 継続審査 |
|                                                                                                        | 羽田空港新ルート運用の一時凍結を求める陳情                                         | 令和4年陳情第11号 | 継続審査 |
|                                                                                                        | 羽田増便による都心航路上の航空機から落下物が相次ぐ事態に関する陳情                             | 令和4年陳情第21号 | 継続審査 |
| 武蔵小山駅前地区・駅前通り地区・小山三丁目第一・第二地区再開発に於ける行政と再開発準備組合等に関する陳情                                                   | 令和5年陳情第6号                                                     | 不採択        |      |
| 区内の7つの公園を対象にPark-PFI制度を活用することに至ったそれまでの経緯とPark-PFIによって生まれるメリット・デメリットまたその事業内容について具体的に区は区民に説明してくださいに関する陳情 | 令和5年陳情第8号                                                     | 不採択        |      |
| 分譲マンション区分所有地権者排除小山三丁目第一・第二地区再開発中止を求める陳情                                                                | 令和5年陳情第9号                                                     | 不採択        |      |
| 文教委員会                                                                                                  | 一人ひとりの子どもが大切にされる品川区を求める請願                                     | 令和5年請願第1号  | 不採択  |
|                                                                                                        | 離婚等のこども養育支援にかかる陳情                                             | 令和2年陳情第47号 | 継続審査 |
|                                                                                                        | 区内小中学校におけるマスク着用の有無に関するいじめ等を防止するための啓発活動を求める陳情                  | 令和5年陳情第7号  | 不採択  |

### しながわクルーズ 水辺の魅力をPRします！

目黒川などの水辺の観光スポットを巡る乗船体験を集中的に実施することで、区の特徴的な観光コンテンツである「船」の魅力を発信し、お客さまの誘致に取り組みます。



**乗船体験(予定)**  
秋頃の2か月間 土・日・祝日に運航

### SDGs 未来都市に向けた 取組を進めます！

SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けて必要な各施策を着実に推進することで、魅力的で持続可能な品川区を築いていきます。

- ・区有施設への太陽光発電設備等の設置を推進
- ・製造時のCO<sub>2</sub>排出量を低減できる「低炭素アスファルト混合物」を使用した道路舗装工事を試行
- ・多摩産材を活用したガードパイプを整備
- ・プラスチック製品回収・再商品化を開始
- ・木製粗大ごみのマテリアルリサイクルを開始  
など

### 庁舎建替を契機とした 現庁舎跡地の活用を検討します！

新庁舎の整備に際する区民負担の軽減を目指し、現庁舎跡地等を有効に活用できる方策を検討します。区役所建替を契機とした区民の声を活かした新しいまちづくりにつなげるため、広町周辺地区の各種調査や区民アンケート、区民ワークショップの開催や跡地活用検討委員会(仮称)の設置などを行います。



現在の区役所本庁舎

### 学校給食を 無償化します！

子どもの心身の健やかな成長を社会全体で支援する取組の一環として、令和5年4月から、区立学校の全児童・生徒の給食食材費を無償化し、子育て家庭の負担と不安を減らし、安心して子育てができる環境づくりに取り組みます。



### ヤングケアラーやその家族を 支える環境づくりを進めます！

ヤングケアラー本人やその家族が孤立せず孤独を抱かない社会を目指し、ピアサポート(peer=仲間)の開催やSNS相談の実施、ヤングケアラーコーディネーターの配置などの事業を実施し、困ったときに気軽にいつでも相談できる環境づくりを進めます。



### デフリンピック東京大会開催に向け 啓発・応援事業を実施します！

聴覚障害者の国際スポーツ大会「デフリンピック」が、令和7年(2025年)11月に東京で開催予定です。区においても以下さまざまな事業を実施し、啓発・応援に取り組みます。

- ・デフサッカーで交流できる「親子サッカー体験会」や振動と光によって音の特徴を体感できる「オンテナを使用した音楽会」などを開催
- ・デフサッカー日本代表合宿開催時に「フラッグ応援」や「交流事業」を地域で展開
- ・「デフスポーツ紹介動画」を作成  
など

# お金の使いみちが決まりました 令和5年度予算審査のあらましをお知らせします

2月24日の本会議において、予算特別委員会を設置し、令和5年度予算および令和4年度補正予算の審査を付託しました。慎重審議の結果、すべて原案のとおり可決しました。

予算の内訳は下記をご覧ください。左ページでは主な事業をご紹介します。

予算特別委員会の構成は、以下のとおりです。

- 委員長：つる 伸一郎 ■ 副委員長：湯澤 一貴、中塚 亮
  - 理事：松永 よしひろ、田中 さやか、須貝 行宏、松本 ときひろ ■ 委員：議長を除く全議員
- \* 令和5年度予算に対する各会派の意見表明は10～11ページに、総括質疑は12ページに掲載しています。  
\* 新型コロナウイルス感染症対策のため、空気清浄機の設置や窓を開けての換気を行い、委員および理事者すべての席にアクリル製飛沫防止パネルを設置しました。



## 一般会計予算

1,987億9,400万円

## 特別会計予算総額

756億4,047万5千円

### 令和5年度予算

(単位：千円)

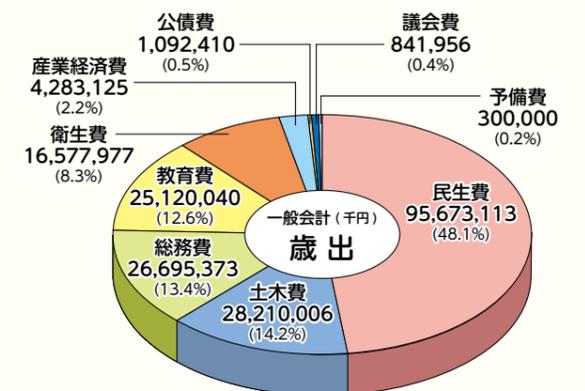
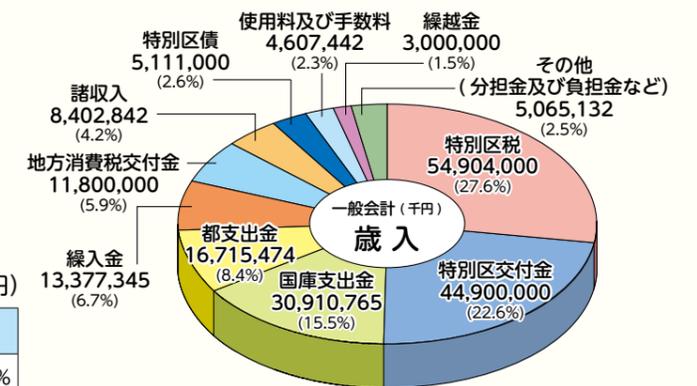
| 会計          | 予算額         | 前年度当初予算額    | 伸率   |
|-------------|-------------|-------------|------|
| 一般会計        | 198,794,000 | 189,072,000 | 5.1% |
| 国民健康保険事業会計  | 36,230,480  | 34,898,803  | 3.8% |
| 後期高齢者医療特別会計 | 10,155,992  | 9,611,101   | 5.7% |
| 介護保険特別会計    | 27,754,003  | 27,282,389  | 1.7% |
| 災害復旧特別会計    | 1,500,000   | 1,500,000   | 0.0% |

### 令和4年度補正予算

(単位：千円)

| 会計          | 補正額       | 最終予算額       |
|-------------|-----------|-------------|
| 一般会計        | 4,059,898 | 202,420,172 |
| 国民健康保険事業会計  | 2,147,470 | 37,046,273  |
| 後期高齢者医療特別会計 | 169,695   | 9,780,796   |
| 介護保険特別会計    | 706,608   | 27,988,997  |

## 令和5年度一般会計予算の内訳



# 令和5年度予算に対する各会派の意見表明

※各会派から提出されたものを原文のとおり掲載しています。

## 各会計に対する各会派の賛否

| 会計          | 結果 | 自民 | 公明 | 共産 | イノベ | ネット | 品改 | 維新 |
|-------------|----|----|----|----|-----|-----|----|----|
| 一般会計        | 可決 | 賛成 | 賛成 | 反対 | 賛成  | 賛成  | 賛成 | 賛成 |
| 国民健康保険事業会計  | 可決 | 賛成 | 賛成 | 反対 | 賛成  | 反対  | 賛成 | 賛成 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 可決 | 賛成 | 賛成 | 反対 | 賛成  | 賛成  | 賛成 | 賛成 |
| 介護保険特別会計    | 可決 | 賛成 | 賛成 | 反対 | 賛成  | 賛成  | 賛成 | 賛成 |
| 災害復旧特別会計    | 可決 | 賛成 | 賛成 | 賛成 | 賛成  | 賛成  | 賛成 | 賛成 |

## イノベーションしながわ

イノベーションしながわは、令和5年度品川区一般会計をはじめ、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、災害復旧特別会計の各会計予算全てに賛成いたします。

令和5年度一般会計予算は、前年度比5.1%のプラスとなる1千987億9千400万円とし、会派から要望した内容も反映した、新時代のしながわ元年に向けた積極的予算とした姿勢を評価いたします。

今後はエネルギー価格の高騰に伴う物価高、ポストコロナ、気候変動、人口減少へスピード感をもった対応を求めます。

また、引き続きAIやIoTなどの最先端技術の活用や、デジタル化の推進、庁舎建て替え、羽田新飛行ルート、福祉の充実、防災対策強化、学校教育の充実、地域経済の回復、環境対策の推進、オリンピック・パラリンピックのレガシー活用、多様性の推進など、各課題への積極的な取組も求めます。

加えて、現代社会の施策実施においては多様なニーズへの迅速かつ柔軟な対応・対策が必要となります。こうした視点を持った取組を求めます。

## 品川・生活者ネットワーク

今の最優先課題の一つは少子化対策です。一時的な金銭支援にとどまらない抜本的対策が必要です。次のパンデミックへの備えも優先課題であり区内各地の大規模再開発は再考すべきです。区内のまちづくりには情報公開と区民参加が必要です。公園のPFI導入には情報公開と慎重な検討を求めます。女性・若者の自死増加に危機感を覚えます。区の自死予防策を評価し、さらなる施策推進を求めます。

性的マイノリティの方たちのパートナーシップ宣誓制度の実現を評価しますが、今は都の制度の活用ですが、本来は、区としての制度を求めます。

学校給食の無償化は評価しますが、食の質の低下を招くことは許せません。これまでの給食の方針継続を求めます。見直しが進む品川区環境基本計画では、身近な化学物質の悪影響について予防原則に則った表記を求めます。5G電磁波の影響も予防原則に基づいた注視を求めます。

羽田新ルートについて、多くの区民の懸念は騒音と落下物ですが、気候危機をもたらしCO<sub>2</sub>削減の観点からも大きな問題です。リニア中央新幹線も膨大な電力消費が前提で、気候危機をくい止める潮流に反します。区は、国に対し両計画の中止を求めるべきです。

## 品川区議会自民党

品川区議会自民党は、令和5年度品川区一般会計、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、同災害復旧特別会計の各予算に賛成します。

また、森澤区長が就任後、初の予算編成において、区長選挙での公約・政策をスピード感を持って予算案で示し、実現へ向けた姿勢と行動力に、心から敬意を表します。

私たちの要望の多くが反映された予算案、特に所得制限のない給食費の無償化、带状疱疹ワクチン接種への助成、病児保育の拠点増設、新庁舎整備、町会・自治会への支援、防災対策、高齢者・障害者福祉の充実、水辺の利活用、環境リサイクル、ボルダリングやスケートボードなどアーバンスポーツやダンスへのニーズに応える整備、留学等子どもたちの国際交流の機会拡大、ヤングケアラーや引きこもり支援など、気持ちを含めた委員会質疑を行いました。

物価上昇への対応と地域経済の回復と支援、区民の生命を守り、区民の幸せを強く意識した「行政と議会の連携」をお約束し、品川区議会自民党の意見表明と致します。

## 品川区議会公明党

公明党は、令和5年度予算編成の過程において、前区長並びに新区長に対し、それぞれ予算要望を行いました。

学校給食費・高校生医療費無償化、補聴器購入費・带状疱疹ワクチン接種費助成の重点施策が実現した他、出産・子育て応援事業、すまいるスクール仕出し弁当事業、グループホーム等福祉施設整備、認知症関連事業、デフレリノベーションや手話普及事業、パートナーシップ事業、ピアランスクエア、子宮頸がん9価ワクチン接種導入、新型コロナウイルス感染症対応検証、SDGs未来越都市応募、フードドライブ常設化、水辺魅力向上と船旅事業、不燃化・耐震化や災害物資受援体制強化、Maas活用、マンション管理計画制度等が予算化されました。また、新公会計制度を活用した行政評価が実施されることにより、財政の見える化と効率的・効果的な運営の進展、さらに区民サービス向上に活かすことが期待されます。

妊娠・出産・育児の切れ目ない支援や若者支援、防災を始め、喫緊の課題である少子化への対応に全力を挙げて取り組むとともに、高齢者と子育て世代、町会とマンションなど支え合う地域共生社会の構築も含め、会派からの意見・要望を真摯に受け止め、今後の区政へ活かされるよう要望します。

## 品川改革連合

令和5年度の一般会計、国民健康保険事業会計と、後期高齢者医療・介護保険・災害復旧の特別会計の各予算に賛成します。3月に入りコロナ感染は減少し観光、飲食、サービス業にも明るさが出てきたが、長いコロナの影響に加え所得や収入が増えない中で、競争や不安などにより光熱費や物価が高騰し、多くの国民は賃上げも出来ず収入も増えず、家計と企業経営は悪化しています。国民は買い控えや節約に動き消費が減少し、中小企業は資金難に陥り融資返済もできず、廃業や倒産が増えているので、区は支援に一層取り組むと共に今後もコロナ予防に努めて頂きたい。介護士・保育士・幼稚園先生の賃上げと労働環境を改善すると共に家族が子どもと被介護者を、予約なしで何時でも病気で安心して預けられる施設の開設と支援を行うべきです。また羽田新飛行ルートの変更を国に働きかけて頂きたい。そして大地震発生時に区民を支える地震保険の加入促進と、高額所得者には社会保障費の負担増をお願いし行き詰まる社会福祉を支えて頂きたい。そして人類にエネルギーと食糧危機をもたらした上に残虐非道なロシアに対し、世界は国を守るウクライナを見捨てずに、世界平和をぶち壊すプーチン政権を倒すべきです。

## 日本共産党品川区議団

コロナ禍や物価高騰で区民生活が追い詰められる中、岸田自公政権は大軍拡に踏み出しました。国の悪政に追随する区政は転換こそ必要です。以下、要望します。

- ▼区の増収は物価高に苦しむ区民や中小企業の直接支援に▼高すぎる国保料は値下げを、子どもは無事に▼特養ホーム・障害者グループホームに希望者が全員入れる増設計画を
- ▼地域に1か所もない地域包括支援センターは地域でチームアプローチができるよう増設を▼保健師の大幅増員を
- ▼補聴器購入費助成は所得制限を撤廃し、18歳から対象にし13.7万円まで拡充を
- ▼区立保育園民営化・削減検討、区立幼稚園閉園の方針は撤回を▼定員割れ私立保育施設へ補助の実施を▼小学校給食費無償化は区立だけでなく特別支援学校、私立等、全ての子どもを対象に▼命の安全教育は包括的性教育の内容で実施を▼超高層再開発は住民を追い出し、学区変更や地球温暖化にも逆行。まちづくりの破綻であり、中止を▼現庁舎跡地と周辺一帯はPFIで特定大企業に提供するのは止めよ▼環境破壊のリニア新幹線は国に中止を求めろ
- ▼羽田新ルートへの反対表明を▼世論を広げ侵略を止めるために再度ロシアへ抗議文の送付を▼岸田自公政権が進める大軍拡に反対を。

## 品川区議会日本維新の会

品川区議会日本維新の会は、令和5年度品川区一般会計、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、災害復旧特別会計の各会計予算に賛成いたします。

森澤区長が誕生して数か月足らずですが、その中であって区民からの要望も多かった給食費の無償化、第2子保育料無償化、高校生までの医療費無料化等子育て政策が予算案に反映された点は高く評価いたします。一方で、物価高騰の影響は全ての区民に及び、苦しい区民生活の下支えは喫緊の課題であり、国や都の動向を待つことなく適切に対応して頂きたいところです。

今回の予算特別委員会では、行政・教育のデジタル活用、高層マンションの防災、放置自転車・路上喫煙対策、出産一時金、地域猫、空き家対策、コミュニティバス、鳩被害、交通事故対策等に関する提案を行いました。区におかれましては、弊会派各委員の質疑の中で指摘、提案した点について検討され、予算の執行や今後の施策に反映して頂くよう要望するとともに、区が遂行する政策等については、評価、検証、改善を徹底して頂き、区民サービスの向上が図られることを求め、品川区議会日本維新の会の意見表明と致します。

# 区政をきく

## (代表質問・一般質問)

令和5年第1回定例会では、区政全般について、5名の議員が代表質問を、6名の議員が一般質問を行いました。以下、概要をお知らせします。

### 一般質問

|       |          |      |      |            |
|-------|----------|------|------|------------|
| せ 渡   | 2月24日(金) | 西 安  | 江 野  | つ 2月22日(水) |
| お 部   |          | 村 藤  | 下 正  | 伸 一        |
| 麻 茂   |          | 直 たい | 作 人  | 郎          |
| 里     |          | 子    |      |            |
| 議員    | 議員       | 議員   | 議員   | 議員         |
| (無所属) | (自民)     | (自民) | (共産) | (公明)       |

### 代表質問

|       |          |      |            |
|-------|----------|------|------------|
| 田 大   | 2月22日(水) | 石 若  | 渡 2月21日(火) |
| 中 倉   |          | 田 林  | 辺 裕        |
| さ たく  |          | ち ひろ | ひろ 一       |
| やか ひろ |          |      |            |
| 議員    | 議員       | 議員   | 議員         |
| (ネット) | (イノベ)    | (共産) | (公明)       |

会派名は次の略語で記載しています。

- 自 民……品川区議会自民党
- 公 明……品川区議会公明党
- 共 産……日本共産党品川区議団
- イノベ……イノベーションしながわ
- ネット……品川・生活者ネットワーク
- 品 改……品川改革連合
- 維 新……品川区議会日本維新の会

本会議における発言の際はマスクを着用することとしておりましたが、令和2年第2回定例会本会議より、議長席および演壇においてはアクリル製飛沫防止パネルを設置し、マスクを外しての発言を可能としました。(演壇の消毒は適宜行っております)  
なお、令和5年第1回定例会より、本会議場における傍聴人数制限を終了し、傍聴人数を従来どおりとしました。

**代表質問**とは  
会派を代表した議員が、区長の施政方針などに対して行う質問です。品川区議会では、通常、第1回定例会で行われます。

**一般質問**とは  
議員が、区の行政全般にわたり、区長をはじめとする執行機関に対して行う質問です。各定例会で行われます。

## インターネット中継で 総括質疑がご覧になれます

予算・決算特別委員会の総括質疑の様子は、区議会ホームページから録画中継でご覧になれます。視聴方法は以下のとおりです。  
(以下の画面はパソコンの例です)

- ①区議会ホームページ左下の「インターネット中継」をクリックします。



区議会ホームページトップ画面 (パソコン)

- ②会議名や議員名などから動画を選択します。



インターネット中継トップ画面 (パソコン)



(例)「会議名で探す」の場合



## 予算特別委員会

予算特別委員会は3月6日から22日のうちの計8日間にわたり令和5年度予算および令和4年度補正予算の審査を行いました。最終日の3月22日には、令和5年度予算について、各会派を代表して10人の委員が各会計歳入歳出予算の全般にわたり総括質疑を行いました。

その後、各会派より意見表明を行い、採決をしました。(各会派の意見表明は10～11ページに掲載)  
総括質疑における質問の要旨は、以下のとおりです。

### 〈総括質疑〉

**湯澤 一貴 委員 (自民)**  
物価高騰に係る経済的支援、健康支援、災害対策、犯罪から区民を守る取組、子育て支援、学校教育等について

**鈴木 真澄 委員 (自民)**  
区政運営、保育料無償化、八潮南特別養護老人ホームと障害者支援、災害時の物資輸送、広町地区活性化について

**新妻 さえ子 委員 (公明)**  
誰もが生きがいを感じ自分らしく暮らしていける品川、パートナーシップ宣誓制度、八潮地区、勝島地域について

**こんの 孝子 委員 (公明)**  
幼児教育(私立幼稚園の役割等)、防災対策(初期消火体制等)、若者の貧困支援(生活困窮実態調査等)について

**石田 ちひろ 委員 (共産)**  
羽田新飛行ルート(区民アンケート等)、障害者グループホーム(区立施設の増設等)、特別養護老人ホームについて

**中塚 亮 委員 (共産)**  
区長の施政方針(地方自治法における住民福祉の捉え方等)、区立幼稚園および区立認可保育園、再開発事業について

**松永 よしひろ 委員 (イノベ)**  
認知症高齢者支援、コミュニティバス、キャッチボール場、ドッグラン、ペットの同行避難、私道整備事業について

**いながき 孝子 委員 (ネット)**  
令和5年度の予算編成、羽田新飛行ルート、新庁舎整備基本計画における現第二庁舎の取扱い、防災について

**藤原 正則 委員 (品改)**  
西大井駅周辺のまちづくり(駅周辺の再開発の状況等)、超高齢社会における介護、事務事業評価、人事について

**せらく 真央 委員 (維新)**  
空き家の利活用(一時的な利活用等)、区営自転車等駐車場、行政手続きのデジタル化、区職員の働き方について

代表質問

### 渡辺 裕一 議員 (自民)



**森澤区政の運営方針、区民の関心事、職員評価とシンクタンク創設について**

**問** 森澤区長自身が目指す品川区政のリーダー像は。また、自身に課すミッションや目標、心がけることなどは。

**答** リーダーとして、常に時代の先を見据える高い視座に加え、多様化する社会にあつて「思いやり」と「共感力」を持ちながら、職員一人ひとりの力を最大限に引き出したいと思っている。区政運営において、都議等これまで培った経験を最大限に生かすとともに、「いつも心に太陽を」をモットーに、どんなときでも明るく前向きに、区政を進めていく所存である。

**デフリンピックを知ってもらおうと、障がい者理解の広がりについて**

**問** 東京でのパラリンピック開催で、品川区は応援競技のブラインドサッカーを通じて、学校での障がい者理解への学び、地域全体での障がい者福祉への理解を飛躍的に成し遂げた。2025年デフリンピックの開催地が東京に決定したが、認知度が低いために留める人が一部に限定されていると聞く。品川区として障がい者理解促進に向けた関わりを。

**答** デフサッカー日本代表の合宿誘致と地域ぐるみの応援および子どもたちとの交流事業等を予定しており、誰もが輝く共生社会実現に向けた取組を進めていく。

**心と体、地域を元気にする文化スポーツ政策について**

**問** 最近の品川区世論調査によると、公共施設についての項目「あなたが住んでいる地区に優先的に整備または維持していくべきと考ええる施設」との問いに対して、文化スポーツ施設が最も高く、文化スポーツの位置づけが高まってきたことを実感するデータと心から感じる。まずは、これからの環境と未

来づくり、子どもたちへの投資として、新たな場の創出を。

**答** 区としても、少年少女が多様なスポーツや文化活動を楽しむための活動場所を考慮していく必要があると考えており、用地や経費などの課題を踏まえ、区有地のみならず、民間の動向なども注視しながら検討していく。

**子育て・教育について**

**問** 自民党の政策要望において、体験学習を増やす取組を提案している。eスポーツやダンス、歌舞伎鑑賞、宿泊による自然学習等の回数や実施校の拡充を求める。

**答** 体験学習は児童・生徒の豊かな心を育む上で大変重要なものと捉えており、今後より積極的に取り組んでいく。

**児童・生徒、保護者は、自分の学力や体力がまずは気になり、次に自分の学校の位置づけ、そして品川区は東京都で、全国ではどうな**

**答** 学力と体力のテスト結果は。全国学力調査において本区の6学年、9学年は共に全国、東京都の平均正答率を上回るか同等の結果だ。体力では、都の令和4年度調査において、握力は男女とも全学

年で都の平均を下回ったが、反復横跳び、立ち幅跳びは男女とも全学年で都の平均を上回った。

**水辺の魅力を伝えるまちづくり**

**問** 水辺の観光フェスタはオール品川の水辺政策として年に1度の代表事業だが、ささやかにエリア毎に開催している。今後展開が見込める意欲ある人や団体への支援を。まずは、様々な団体がどのような活動を行っているのか、状況を把握することが肝要と考えている。その上で、それら団体への支援の在り方について研究を進めていく。

**防犯まちづくりについて**

**問** 地域の防犯意識は何よりも貴重で責い。取り組んでいる方々への感謝と敬意のため地域の防犯への協力や取組がいかに大切で効果があるか、様々な機会や方法で発信を。区では、警察署、防犯関係団体、町会・自治会等と緊密に連携し、生活安全に関する意識啓発、区民の自主的活動への支援等を推進して

**答** 区における刑法犯認知件数は10年前に比べ約5割に減少した。これは地域の皆様の活発な活動の成果で、品川区の安全に大きく寄与していることについて、ホームページ等で紹介している。

### 若林 ひろき 議員 (公明)



**子育て支援と教育について**

**問** 都議会公明党が推進した高校生医療費無償化の都事業は、現在の中

**答** 区は令和8年度以降も事業継続を考えており、都補助について引き続き区長会を通し働きかけていく。

**問** 公明党は、2019年予算特別委員会等で財源や予算規模等を確認しながら学校給食の無償化を求め、2022年第3回定例会でも必要な予算も質疑しながら無償化を改めて求め、区長の公約にも掲げられた。予算化に当たったこの事業目的と、考えられている成果は。

**障がい児者支援について**

効かつ長期的な装用のため検討を重ねている。

**学校給食は児童・生徒の心身の健全な発達を支える重要な役割を担っており、子育て世帯を経済的に支援し、産み育てやすい環境づくりを更に推進できると考えている。**

**高齢者等への支援について**

**問** 公明党は、補聴器を必要とされる方が増えているとの認識の下、購入費用助成に向け、補聴器が聞こえの助けとならず使用しない方が多く存在する課題を指摘してきた。

**答** 工業会調査結果を基に質疑に臨み、補聴器相談医と認定補聴器技能者との連携が事業の肝であることを指摘し区と共有してきた。予算化に当たり、事業の目的に公明党の指摘をどのように反映されたのか。

**補聴器に関する正しい知識の普及啓発の第一歩として、シルバー成年式で耳の間こえに関する相談コーナーを設けるなど、補聴器の購入費用助成の実施に向け取組を進めてきた。事業化に当たっては、医師会や言語聴覚士、業界団体などに協力をいただき、補聴器の有効かつ長期的な装用のため検討を重ねている。**

**区として、少年少女が多様なスポーツや文化活動を楽しむための活動場所を考慮していく必要がある**

**問** 国は優れたSDGsの取組を提案する自治体をSDGs未来都市として選定し支援をしているが、区が目指す国への提案内容は。

**答** SDGsに対する区の全体計画を策定し、モデル事業とともに令和6年2月を目途に内閣府に提案する予定だ。

**防災について**

**問** 都は現行の2000年基準を満たさない新耐震基準の木造住宅を耐震診断と耐震改修の助成対象とする方針を新たに打ち出した。都事業を行った場合の区内被害想定は。

**答** 区は耐震化が完了した場合、被害の約8割が減少するとしている。

**中小企業支援について**

**問** 区内経済団体から、区の各種補助金等における賃金引上げ枠の創設等が提言をされているが、考えは。賃上げや価格転嫁等に対して区ができる直接的な施策は限られているが、様々な事業を通じて事業継続を下支えしていく。

**財政と事業評価について**

**問** 品川区で長年貫かれてきた高橋・濱野両区長による健全財政の継承と展開を問う。

**答** 今後も事業の効率性や実効性を高める努力と工夫を重ねて、健全財政を堅持していく。

**新庁舎について**

**問** 区民や障がいのある方の意見をお聞きし、親しまれ愛される新庁舎とするのが大切と思うが考えは。オープンハウス形式での説明など、様々な手法を活用し、区民の皆様からのご意見を丁寧に聞いていく。

**感染症対策について**

**問** 保健所、医療機関の逼迫は全数把握前後でどのように変化したか。保健所の業務量は減少したが、医療機関の負荷はあまり減少していなかったものと認識している。

代表質問

# 石田 ちひろ 議員 (共産)



## 戦争国家づくりは許さない 敵基地攻撃能力と大軍拡に反対を

**問** 軍事費2倍化相当のお金を教育予算に回せば、小中学校の給食費無償化、高校・大学の学費無償化等が実現できる。「軍事費2倍化と敵基地攻撃能力の保有に反対すべき」の質問になぜ答弁しないのか。

**答** 防衛に関する事項は専ら国が担う役割・責務であり、国会の場で議論を十分に尽くすべきである。

## 社会保障のさらなる切り捨てを許さず、命・暮らしを守る福祉の充実を

**問** 特養ホームは、高齢になる親を持つ現役世代にとっても喫緊の課題だ。待機者をゼロにする計画を持ち、増設を進めることを求める。

**答** 保育士資格のない保育補助や一般事務など、全体の約50%だ。全ての会計年度任用職員の時給を

**答** 「できる限り住み慣れた我が家で暮らす」という区が目指す高齢者介護の在り方・目標を実現するため、在宅支援を重視しつつ、在宅での生活が難しくなった時のセーフティネットとして多様な入所・入居施設の整備を進めている。

## 物価高騰から区民の暮らしと営業を守る緊急対策を

**問** 食料品など生活必需品が大きく値上がりしているため、低所得者ほど重い負担となる。コロナ禍に加えて、異常な物価高騰に苦しむ区民・中小業者の実態の受け止めは。

**答** 物価高騰等は、区民や中小企業を直撃し、不安等を抱える方も多くいると認識している。区としては、令和4年第4回定例会に約8億円の物価高騰等に対する支援策を提案し、議決をいただいたところだ。

**問** 物価高騰から暮らしと営業を守るためには、「優しく強い経済」に転換し、そのためには最低賃金を上げることが必要だ。品川区で働く非正規労働者・会計年度任用職員の中で、時給が1千500円未満の職員の割合は何か。

**答** 保育士資格のない保育補助や一般事務など、全体の約50%だ。全ての会計年度任用職員の時給を

**問** 物価高騰から暮らしと営業を守るためには、「優しく強い経済」に転換し、そのためには最低賃金を上げることが必要だ。品川区で働く非正規労働者・会計年度任用職員の中で、時給が1千500円未満の職員の割合は何か。

**答** 保育士資格のない保育補助や一般事務など、全体の約50%だ。全ての会計年度任用職員の時給を

**答** 1千500円以上に引き上げるべき。報酬額は職務の複雑性、責任等の軽重に応じ、かつ常勤職員の給与との権衡を考慮して決定しており、一律に引き上げる考えはない。

## 国の責任を投げ捨てる「コロナ」5類「引き下げ」への追従ではなく、公費負担の継続・医療体制強化など命を守る対策を

**問** 濃厚接触者等が必要時に検査できるように、地域センターなど区有施設で抗原検査キットの無料配布を。介護サービス事業者へ追加配布する予定としている。

**答** 品川区区内の高齢者施設、障害者施設で、クラスター件数はそれぞれ何件か。またコロナにより施設内で亡くなった方の人数は。

**問** 品川区区内の高齢者施設、障害者施設35件だった。入院調整中に施設内で死亡した方はいない。

**答** 同一施設3名以上の施設内クラスターは、昨年1月から本年1月末まで、高齢者施設85件、障害者施設35件だった。入院調整中に施設内で死亡した方はいない。

## 住民追い出しの超高層再開発・特定整備路線は中止し、住み続けられるまちづくりを

**問** 一つ一つの家の不燃化の促進こそ住民の犠牲を最小化する防火施策だ。特定整備路線の予算を住宅を準耐火構造以上にする支援に回

**答** 一つ一つの家の不燃化の促進こそ住民の犠牲を最小化する防火施策だ。特定整備路線の予算を住宅を準耐火構造以上にする支援に回

**答** せば、さらに前進させる力になる。住宅の不燃化が進めば、住民を追い出す新たな巨大道路・特定整備路線は必要ないと思うがいかがか。

**答** 特定整備路線は災害時の火災の延焼防止、緊急車両の通行など防災性の向上の観点から重要な道路である。引き続き都と連携しながら、防災性の向上に取り組んでいく。

## ジェンダー平等でだれもが自分らしく安心して生きられる品川へ

**問** 区は新年度予算で東京都パートナーシップ宣誓制度の活用を盛り込んだ。なぜ品川区としてのパートナーシップ制度をつくらないのか。

**答** オンラインでの申請や広域的な利用が可能であり、希望に応じて「子の名前」を特記事項欄に記載できるなど、生活上の不便をより軽減できる内容であるため、都の制度を活用することとした。

**問** 男女共同参画推進条例は、区のある政策にジェンダー平等の視点を行き渡らせるものになる。どのように条例制定まで進めるのか。

**答** 有識者等による検討会を設置し、区民の意見も聞きながら進めていく予定であり、委員構成やスケジュールを検討しているところだ。

代表質問

# 大倉 たかひろ 議員 (イノベ)



## 保育・教育環境の整備について

**問** 0歳児オムツ宅配定期訪問は赤ちゃんの肌との相性も考慮しオムツを選択できるような仕組みが必要。

**答** 複数メーカーを用意し、育児用品も選択できるよう検討していく。

**問** 保育園と保護者をアプリでつなぐサービス導入に際しては、保育士の業務負担にならないよう、簡便性とアフターサービスの充実したものを選ぶようになっていくか。

**答** 保護者の利便性向上と保育士の負担軽減を目的として導入したいと考えている。指摘の視点を含め選定していく。

**問** 園児の置き去り問題が報道等で大きく取り上げられている。GPSタグ等のICTを利用した置き去

**答** 園児の置き去り問題が報道等で大きく取り上げられている。GPSタグ等のICTを利用した置き去

**問** 食料品など生活必需品が大きく値上がりしているため、低所得者ほど重い負担となる。コロナ禍に加えて、異常な物価高騰に苦しむ区民・中小業者の実態の受け止めは。

**答** 物価高騰等は、区民や中小企業を直撃し、不安等を抱える方も多くいると認識している。区としては、令和4年第4回定例会に約8億円の物価高騰等に対する支援策を提案し、議決をいただいたところだ。

**問** 物価高騰から暮らしと営業を守るためには、「優しく強い経済」に転換し、そのためには最低賃金を上げることが必要だ。品川区で働く非正規労働者・会計年度任用職員の中で、時給が1千500円未満の職員の割合は何か。

**答** 保育士資格のない保育補助や一般事務など、全体の約50%だ。全ての会計年度任用職員の時給を

**問** 物価高騰から暮らしと営業を守るためには、「優しく強い経済」に転換し、そのためには最低賃金を上げることが必要だ。品川区で働く非正規労働者・会計年度任用職員の中で、時給が1千500円未満の職員の割合は何か。

**答** 保育士資格のない保育補助や一般事務など、全体の約50%だ。全ての会計年度任用職員の時給を

**問** 物価高騰から暮らしと営業を守るためには、「優しく強い経済」に転換し、そのためには最低賃金を上げることが必要だ。品川区で働く非正規労働者・会計年度任用職員の中で、時給が1千500円未満の職員の割合は何か。

**答** 保育士資格のない保育補助や一般事務など、全体の約50%だ。全ての会計年度任用職員の時給を

**問** さらなる情報を収集するとともに、研究を進めていく。

**答** さらなる情報を収集するとともに、研究を進めていく。

**問** 部活動の地域移行は教員に競技経験がない、スポーツ団体の連携・協働不足、希望の部活がない等の課題がある。区の課題認識は。

**答** ひとりひとりのニーズに必ずしも応じることができない現状がある。地域団体との連携を進め、多様な体験の確保や持続可能で多様なスポーツ環境の整備が必要。

**問** 多様な活動機会のためには地域連携が重要と考えている。令和5年度は各学校において少なくとも1つの部活動で地域移行ができるようにしていく。

**答** スムーズな地域移行に向け、部活動指導員を増員することが必要。専門性や教員負担解消の観点から、部活動指導員は各校2名体制に拡充し、地域連携を進めていく。

**問** 高齢者も障がいのある方も安心して利用できる品川について

**答** 少子高齢化社会において、認知症患者の増加が大きな課題となっている。グループホームの増設と介護人員の拡充が必要。人材確保では給与水準の向上策も併せて必要。給与格差は縮小してきている。区

**問** 少子高齢化社会において、認知症患者の増加が大きな課題となっている。グループホームの増設と介護人員の拡充が必要。人材確保では給与水準の向上策も併せて必要。給与格差は縮小してきている。区

**答** 少子高齢化社会において、認知症患者の増加が大きな課題となっている。グループホームの増設と介護人員の拡充が必要。人材確保では給与水準の向上策も併せて必要。給与格差は縮小してきている。区

**問** 少子高齢化社会において、認知症患者の増加が大きな課題となっている。グループホームの増設と介護人員の拡充が必要。人材確保では給与水準の向上策も併せて必要。給与格差は縮小してきている。区

**答** 少子高齢化社会において、認知症患者の増加が大きな課題となっている。グループホームの増設と介護人員の拡充が必要。人材確保では給与水準の向上策も併せて必要。給与格差は縮小してきている。区

**問** 濃厚接触者等が必要時に検査できるように、地域センターなど区有施設で抗原検査キットの無料配布を。介護サービス事業者へ追加配布する予定としている。

**答** 品川区区内の高齢者施設、障害者施設で、クラスター件数はそれぞれ何件か。またコロナにより施設内で亡くなった方の人数は。

**問** 品川区区内の高齢者施設、障害者施設35件だった。入院調整中に施設内で死亡した方はいない。

**答** 同一施設3名以上の施設内クラスターは、昨年1月から本年1月末まで、高齢者施設85件、障害者施設35件だった。入院調整中に施設内で死亡した方はいない。

**問** 品川区区内の高齢者施設、障害者施設35件だった。入院調整中に施設内で死亡した方はいない。

**答** 同一施設3名以上の施設内クラスターは、昨年1月から本年1月末まで、高齢者施設85件、障害者施設35件だった。入院調整中に施設内で死亡した方はいない。

**問** 一つ一つの家の不燃化の促進こそ住民の犠牲を最小化する防火施策だ。特定整備路線の予算を住宅を準耐火構造以上にする支援に回

**答** 一つ一つの家の不燃化の促進こそ住民の犠牲を最小化する防火施策だ。特定整備路線の予算を住宅を準耐火構造以上にする支援に回

**問** 認知症の早期発見は、進行を遅らせることや症状緩和、適切な介護サービスにつながる。現在の認知症検診75歳から65歳へ実施の考え。

**答** 現在、対象年齢拡大の予定はない。経済と環境が両立するSDGsの取り組みについて

**問** 資源循環体制強化に向け、一人一人がゴミ削減や資源の再利用に取り組みが必要があるが、ゴミ出しの際に分別が分かりにくい。スマホアプリの導入で、わかりやすい分別やゴミ出しが出来ることが必要。先行自治体の効果など調査検討していく。

**答** 公契約条例の制定は労働者、事業者、区民それぞれにメリットがあり、地域での好循環を生み出すことが期待される。公契約条例の制定が必要。

**問** 公契約条例の制定は労働者、事業者、区民それぞれにメリットがあり、地域での好循環を生み出すことが期待される。公契約条例の制定が必要。

**答** 公契約条例の制定は労働者、事業者、区民それぞれにメリットがあり、地域での好循環を生み出すことが期待される。公契約条例の制定が必要。

代表質問

### 田中さやか議員 (ネット)



#### 子どもの権利の確保と、その根拠となる品川区子どもの権利条例の制定について

**問** 本区で過去に子どもの自死が複数あったことは忘れてはならず、子ども・若者の自死を防ぐ取組は急務。児相の開設を待たず、早急な権利擁護機関の設置を求める。

**答** 他自治体事例を引き続き研究する。子どもの権利を保障する実効性のある条例を制定するために、子ども・若者に寄り添い、子どもの育ちを支援してきた市民や専門家、学識経験者等が出席する開かれた検討委員会を立ち上げることが必要だと考える。区の見解を問う。

**答** 東京都なども基本条例の周知啓発等進める。

#### 共に学び共に生きるインクルーシブ教育の推進について

**問** インクルーシブ教育を推進するためには、発達障がい児の支援に限らず、通常学級に通いたい知的障がい児や肢体不自由児等も分け隔てなく支援する支援員の配置が必要。見解を問う。

**答** 学習支援員・介助員については、発達障害に限らず、知的障害や肢体不自由の児童・生徒にもできる限り対応するよう努めている。

#### 公給食等の「食の質」の確保について

**問** 学校給食の無償化により区教委が掲げてきた食の質の確保に向けた取組が後退しないよう求める。

**答** 今後変わりはない。

**問** 契約農家と共に子どもの体に優しい有機野菜を使用したオーガニック給食実現を目指すことを求める。

**答** 無農薬の野菜などを調達し、体に優しい給食に取り組んできている。特別支援学校は都立のために無償化の対象外であれば、補助制度を別途用意すべき。

**問** 今後の研究課題とする。

**答** 今度の研究課題とする。

**問** すまいるスクールで朝食を提供するならば、子どもたちの体に負担をかけない食の質の確保は不可欠。

#### 食の質確保に向けた検討を問う。様々な角度から検証する。

**答** 食の安全・安心に配慮するなど、様々な角度から検証する。

#### 羽田新飛行ルートや、リニア中央新幹線、新庁舎建設を含めた品川区のまちづくりについて

**問** 全てのケアラー（介護者）が個人として尊重され、健康で文化的な生活を営むことができるように、ケアラーを支援することは介護される人のためにも必要な条例と考える。条例の必要性について問う。

**答** マニュアル等を作っていく中で示していきたいと考えている。

**問** 環境基本計画中間見直し成果と課題について

**答** CO2削減目標を達成する具体的な実行策を問う。

**問** 区に環境に合う太陽光発電を中心とした再生可能エネルギーの導入を推進する。

**答** 有害化学物質の暴露は化学物質過敏症の方たちにとっては非常に深刻な問題だが、本来は全ての人にとって避けるべき事態。区の施設での有害化学物質削減の方向性や具体策、削減目標の数値なども書き込むべきと考える。見解を問う。

**問** 個別に数値目標を定めることは困難。化学物質の適正管理について、

**答** 区の取組として記載している。

**問** 羽田新飛行ルートや、リニア中央新幹線、新庁舎建設を含めた品川区のまちづくりについて

**問** 第一庁舎は、建物を残して別途活用とされていたものが、区民の負担軽減を謳った区庁舎跡地周辺一帯のなまちづくりに組み込まれた。決定までの協議状況を問う。

**答** 会議体の名称は無く、関係部課長との会議、区長、副区長を入れた会議等を10回前後やったと思う。

**問** 財源計画も、まちづくりによる区民負担軽減の方策が盛り込まれ、答申から大きな変更となった。その理由と、区が示す区民の負担軽減の意味を問う。

**答** 跡地の有効活用で収入を確保。区民の実質的な負担を軽減していく。リニア事業者によるオープンハウス型説明会で、2021年の事業者説明会とは異なる説明があった。区として事業者、市民への説明不足等を指摘し改善を求めるべき。丁寧な取り組みを事業者に求める。乳幼児等も含めた全ての区民への羽田新ルートによる影響を聞き取る手法について問う。

**問** 保育者や介護者への聞き取り調査は、今回、実施する予定は無い。

一般質問

### つる伸一郎議員 (公明)



#### 品川区の青年政策について

**問** 青年世代が求める施策の推進、青年世代と高齢・子育て世帯との交流支援など青年政策の方向性は。

**答** 若者と地域の大人が触れ合う拠点や仕組みの必要性が、地域や大学生から挙がっており、具体的検討も予定している。

#### 子育て支援・教育について

**問** 学校給食の無償化について、区民が共感できる財源を示し、質や栄養面の維持向上を。

**答** 恒久的な財源の確保について企画部門と調整し、今後の事業の推進を図っていく。献立の内容など、さらに研究し、向上に努めていく。

**問** すまいるスクールでの長期休業中等における仕出し弁当の導入について。

**答** 2018年の第3回定例会で求め

て以降5年目にして試行される。全校展開はいつからか。

**答** 5年前よりご提案をいただいている。要望が多く、期待されていることを認識している。試行に向けて検討している。具体的な時期については、今後検討を進める。

#### 健康について

**問** グリーフケアの支援策を求めた。出産・子育て応援給付金の案内文に、流産や死産をされた方も対象となることを明記してもらった。ケアの体制強化の状況は。

**答** 周産期喪失を経験された方への支援をテーマに、グリーフケア団体の代表を招いて研修を実施した。相談体制が強化されると考える。

#### SDGsについて

**問** 「SDGs 未来都市」のキックオフイベントやアレルブランドのオピニオンリーダーを招いての、サステナブルファッションショーなどのイベントを開催し、SDGsの取り組みの啓発を。

**答** 講演会やワークショップなどを開催し、意識醸成を図る。ファッションショーについても、循環経済の実践的な取組の一つとして、アレルブランドのオピニオンリーダーの招聘など検討する。

一般質問

### 江野下 正人 議員 (自民)



#### 教育活動について

**問** 部活動の地域移行の取組と見解は。

**答** 次年度は部活動指導員を各校2名体制に拡充し地域の人材を活用して地域との連携を段階的に進める。大規模災害を想定し中学生が地域の力になれる訓練を希望する。

**問** 避難訓練による自分の身の守り方が最も重要。自らの安全が確保された上で災害時には地域の中学生による活躍が期待されると考える。

**答** 品川区の「まちづくり」として加入促進の取組と見解は。

#### 商店街の支援について

**問** 組合に加入しない店舗が増えてきている。品川区の「まちづくり」として加入促進の取組と見解は。

**答** 活動継続には組合への加入促進が重要な課題と理解。区商連との連携、エリアサポーターの活用等、加入促進に繋がる活動を支援する。中小企業は事業を続けて行くにも

#### しながわシティマラソンについて

**問** 「新時代のしながわ」に相応しい品川区の魅力にあふれた特色のある誰もが参加できる大会の開催を。熱い思いをご提案頂いた。内容を含め検討する。令和7年3月の開催を目指し準備を進める。

**問** ぜひ森澤区長も区民の皆様と一緒に走っていただけないか。

**答** トレーニングが必要。今後、自分の体調を含めて検討する。

悩んだまま閉店するケースが多い。事業承継について新たな取組を。令和5年度には専門のポータルサイトを運営予定。今後も金融機関と連携するなど支援を充実する。

**問** 鳩・カラスの餌やりによる被害、地域の環境について、見解は。

**答** 良好な環境維持は大変重要。注意喚起、啓発チラシ、餌やり防止掲示板、パトロール等、継続的に実施。今後も地域環境の向上に効果的な検討と合わせ粘り強く取組む。町会、商店街、地元企業と連携を図った賑わいの創出を期待する。

**問** 「あつまれ！えばら」では実行委員会を設け在原地区町会連合会も参加。来年度は「スクエア在原10周年」記念イベントも含め様々な団体との一層の連携に取組む。

安藤 たい作 議員 (共産)



の研究課題としていく。学校選択制や学力テストなどによる競争教育でなく、子どもの権利条約活かした学校へ

子どもの権利条例の制定を求める。都が子どもに関する基本的な条例を発出しており、まずは区として周知啓発していく考えだ。

区民の財産である区有地が70年以上も特定の企業のもうけに使われる渋谷区等の例は、区民にとって大きな損失では。

定期借地権を設定する貸付料で、新庁舎を建てる際の実質的な負担を軽減することができるというメリットもあり、いろいろな条件があるのでも今後検討する。

原発等のエネルギー施策は国の責任、この姿勢では気候危機が止められない。区は、温暖化はやむなしという立場なのか。

国、地方自治体それぞれが役割をしっかりと実現することで、地球環境の保全につながると思われる。

品川の子どもたちが社会の中で生き抜くための入口である義務教育は重要だ。これからの品川の教育はどう進んでいくのか。

時代やニーズに応じて教育要領や市民科の内容を見直していくとともに、品川コミュニティ・スクールの役割等を工夫・進化させ、子どもたちの成長発達に向け社会全体で支援できる体制を整えている。

現在資料調達等の懸念があるが、竣工までのスケジュールに変更は。資料調達の状況や工事従事者不足等の影響を踏まえ、精査を進める。

各地域センターにこそ、各種証明書の写し発行のため活用するマルチコピー機の設置を求める。

令和5年度に戸籍住民課にマルチコピー機の設置を予定しており、その利用状況等を検証し地域センターへの拡大について検討する。

品川パピリオンへの出店の現状は。令和4年度、機械要素技術展に10社、A1・業務自動化展に5社が共同出展している。

子ども若者・子育て支援について

品川区政について

区内のどこに住んでいても、単体の小学校、中学校ならびに義務教育学校を選択することができている状況であることから、当面現状の6校体制で考えている。

西村 直子 議員 (自民)



子どもまんなか社会に向けて

子ども家庭庁設立に向け、国は省庁横断的に取り組むとするが区はどのように部署間連携を行うのか

行政の縦割りを打破し、民間支援団体等とも連携していくことが必要だと強く認識をしている。子ども家庭センターの議論をはじめ機動的な組織体制の検討を行う。

児童相談所において子どもたちの声を聞き、代弁する意見聴取の整備を。子どもたちの声が届く子どもアドボカイト等の機関連設を検討している。

親支援が不足している。児童相談所で親の変化を促す支援について。専門的に対応する組織をつくり、親子関係を改善する再統合事業を実施、区独自の支援体制を充実。

地域共生社会について

高齢者の独り住まいの対応困難ケ

ーが増えている。高齢者を支える、民生委員の負担軽減について。民生委員にお願いする日常の見守り、行政や関係機関が担う制度的・専門的支援の役割分担を再確認し、検討を進める。

居住支援について、住宅と福祉の連携、官民協働のネットワーク、入居後支援が必要。区の見解は。あらゆる地域の連携が必要。今後ともさらなる連携の促進に取り組む。

環境施策について

脱炭素社会の実現に向けプラスチックを減らすための量り売り、リフィルステーションについて。

企業などと連携し、啓発をはじめ効果的な取組について検討する。エコルとこしが人気。お客様本位のセンス溢れる周知・広報をどう実現したのか。今後の取組は。

地域や企業、区内外の関係施設との連携・交流をより促進していく。今後子どもたちの目線を大切にしながら、一方通行にならない情報発信、サービスの提供に努める。

区民アンケートについて

内容、抽出の仕方、バイアスが含まれない調査設計を。質問項目等を丁寧を設定し、率直な意見をいただけるよう工夫する。

せお 麻里 議員 (無所属)



施設方針について

区では、所得制限を設けず、全てのゼロ歳児家庭を対象としたおむつ宅配定期訪問を実施するとしている。おむつ以外にも多様なニーズを踏まえ、様々な育児用品を選択できるようにすべきと考えるが、ミルクや離乳食、お尻拭き等も選択できるような検討していく。

今行われるアンケートにおいて、障がいがある人たちへの配慮が必要と考えるが、具体的取組は。ユニボイスによる音声読み上げや、コールセンター等の問合せ窓口を設けるなど、丁寧な対応に努める。

すまいるスクールについて

すまいるスクールでは、これまで夏休みなどの昼食は保護者が用意した弁当の持参となっており、保護者からは、「たまにはお弁当作

りを楽しみたい」、「選択肢がほしい」との声をたくさんいただいていた。今後、仕出し弁当導入に向けてどのように進めていくのか。

学校内という環境を考慮した運用や、日々変化する利用児童数に対応できる事業者など、試行に向け現在検討をしているところだ。

医療的ケア児がすまいるスクールに定期的に通えることは、放課後の居場所確保と同時にインクルーシブな居場所となり、相互理解へと繋がる。現在の受入れ状況は。

令和3年度は1名、令和4年度は2名が利用をしている。保護者の意向を確認し、学校や主治医、対応する看護師等との情報共有を行い、受入れの調整をしている。

インクルーシブ教育について

施設方針にも支援学級の施設とある。障がいがある子もいない子も共に過ごす時間を確保するための支援学級新設、そのような方向性が重要と考えるが、見解を伺う。

特別支援学級は区立小学校内に設置されることから、通常学級の児童との交流や共同学習も容易にできる。児童の実態や保護者の意向を踏まえた上で、一層交流が深まるよう体制づくりに努めていく。

一般質問

一般質問

一般質問

一般質問

# 議会改革の取組状況をお知らせします

(令和元年度～令和4年度)

品川区議会では、区民の皆様により身近な区議会の実現や議会活動の一層の活性化を目指し、議員が主体となり、「議会改革推進会議」、「広報会議」、「区民と議会の交流会議(旧 議会報告会等準備会議)」、「ICT推進会議」の4つの会議体で議会改革に取り組んでいます。

令和元年5月から令和5年3月までの主な取組状況は以下のとおりです。

## 議会改革推進会議

- 令和3年7月29日に「新庁舎整備基本構想における議会機能に関する意見」を、令和4年2月4日に「新庁舎整備基本計画における議会機能に関する意見」を執行機関に提出しました。

## 広報会議

- 令和元年5月23日に区議会だより改選議員紹介号を新規発行しました。
- 令和元年11月26日発行区議会だより第277号から、表紙に公募写真の掲載を始めました。
- 令和2年11月25日発行区議会だより第283号から、発行日に区公式LINEでのお知らせを始めました。

## 区民と議会の交流会議

- 議会報告会を常任委員会別に実施することを新たに決定し、令和2年12月には区民委員会が初めてオンライン方式で開催しました。その後も、新型コロナウイルス感染状況に鑑み、常任委員会ごとに対面やオンラインの方式で開催しました。
- 毎年11月の品川女子学院との意見交換会のほか、令和元年12月に高齢者クラブと、令和3年12月に学校地域コーディネーターと、それぞれ意見交換会を行いました。
- 職場体験として、令和2年1月、令和3年11月、令和4年11月に伊藤学園を、令和4年12月に富士見台中学校を受け入れました。



オンライン開催された議会報告会の様子

## ICT推進会議

- 令和元年11月28日(令和元年第4回定例会)から、本会議における音声文字化アプリケーションによる傍聴支援を開始しました。
- 令和2年1月14日から、紙の減量化の取組の一環として、本会議・委員会招集通知の完全電子化を開始しました。
- 令和4年3月28日までに協議を重ね、平成29年7月以来使用している議会タブレット端末の次期更新機器を選定しました。



音声文字化アプリケーションを使用した傍聴支援のイメージ

## 建設委員会

- 2月27日 議案審査(5件)  
請願・陳情審査(17件)
- 2月28日 報告4件(品川区まちづくりマスタープラン改定に向けた検討状況など)について質疑

## 文教委員会

- 2月27日 議案審査(6件)、請願・陳情審査(3件)  
報告1件(区立学校における3月13日以降の教育活動)について質疑
- 2月28日 報告12件(学校改築の進捗など)について質疑



## 特別委員会の活動 2月～3月

2月から3月末までの委員会の主な活動は次のとおりです。

## 行財政改革特別委員会

- 3月1日 特定事件調査のまとめについて
  - ①新庁舎に関すること
  - ②行政のデジタル化に関すること

## 災害・環境対策特別委員会

- 3月2日 特定事件調査のまとめについて
  - ①防災に関すること
  - ②清掃・リサイクルに関すること
  - ③環境に関すること
 陳情審査3件  
報告5件(防災フェアなど)について質疑

## 常任委員会の活動 2月～3月

2月から3月末までの委員会の主な活動は次のとおりです。

## 総務委員会

- 2月27日 議案審査(2件)  
請願審査(2件)  
報告3件(専決処分の報告)について質疑
- 2月28日 報告6件(令和5年度組織改正(案)など)について質疑

## 区民委員会

- 2月27日 議案審査(1件)  
総合区民会館(ぎゅりあん)を視察
- 2月28日 報告2件(令和4年度 マンション管理組合等実態調査報告書など)について質疑

## 厚生委員会

- 2月27日 議案審査(5件)  
陳情審査(1件)
- 2月28日 報告5件(地域福祉計画改定に伴う区民アンケート調査結果報告など)について質疑



## 浅間台小学校 本会議場見学(令和5年2月3日)

区立浅間台小学校の3年生が、区議会本会議場（区役所議会棟5階）を見学しました。

本会議場では、ふだん本会議で議員が座っている席に座り、備え付けのマイクから区議会議員に直接質問をしました。この質問タイムではたくさんの手が上がり、「どうしたら議員や議長になれるか?」「どんなことを課題と感じていますか?」「どんな仕事が大変ですか?」「お休みはいつですか?」

など、この他にもたくさんの質問が出て、議員が丁寧に回答しました。当日参加した児童の感想をご紹介します。

- 議会棟の方たちは、品川区民のためにいろいろなことをしてくれているということが分かりました。
- 実際に議員の方にお話を聞いて嬉しかったです。わたしも議員になってみたいと思いました。



### 区議会だよりに掲載する写真を募集しています

品川区議会では、「区議会だよりについて、より多くの方にご興味を持っていただきたい」との思いから、表紙写真を募集し、ご応募いただいた中から選ばれた1枚を表紙に掲載しています。ご応募いただいた皆様、素晴らしいお写真をありがとうございました。

引き続き、区議会だよりに掲載する写真の募集を行いますので、ぜひご応募ください。

**【応募資格】 区内在住・在勤・在学の方**

**【募集作品】 品川区内で撮影したデジタル写真**

品川区の魅力をPRできるような写真をお待ちしております。

※応募規定など、詳細は区議会ホームページでのご案内をご覧ください。

**【問い合わせ先】**

調査係 電話：03-5742-6810  
Fax：03-5742-6895



### 区議会ホームページの多言語翻訳を開始しました

区議会ホームページでは、100以上の言語に対応可能な多言語翻訳機能の運用を令和5年4月から開始しました。

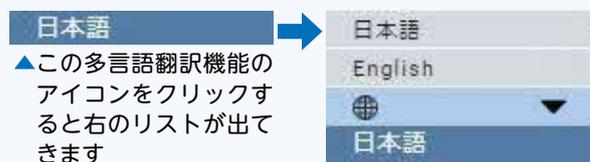
主な機能は以下のとおりです。

(1) 自動翻訳

区議会ホームページの言語は、利用者の端末（スマートフォン等）の言語設定に応じて自動翻訳されます。

(2) 手動翻訳

区議会ホームページ上のアイコン（以下）をクリックして出てくるリストから言語を選択することで、表示する言語を変更することができます。



### 次回の区議会だよりでは、新しい区議会議員をご紹介します

令和5年4月23日執行の品川区議会議員選挙で選ばれた40名の区議会議員を、5月に発行予定の区議会だより第299号にてご紹介いたします。区議会だより第299号は、発行後、区内全戸配布します。

なお、区議会だよりは区議会ホームページからもご覧になれます。